

【 協 議 事 項 】

- 1 次期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に向けた
高齢者等意識調査（アンケート）について 1 頁

1 次期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に向けた 高齢者等意識調査（アンケート）について

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画は、老人福祉法及び介護保険法に基づき、「市町村老人福祉計画」と「市町村介護保険事業計画」を一体的なものとして策定する法定計画であり、本計画には、

- ① 市高齢者保健福祉施策の基本理念、基本構想、施策展開の方向性
- ② 計画期間における介護保険給付サービスの見込み量
- ③ 計画期間におけるサービス基盤の整備目標
- ④ 介護保険事業にかかる給付費の見込み
- ⑤ 計画期間における介護保険第1号被保険者保険料の設定

といった内容を定めている。

当該計画の計画期間は3年を1期としており、現行の「第5次市高齢者保健福祉計画」は、平成21年度から23年度までとなっているため、平成23年度において平成24年度から26年度までを新たな計画期間とする次期計画を策定する必要があることから、事前に本年度において高齢者意識調査（アンケート）を実施するものである。

なお、次期計画は、平成18年3月に策定した前期（第4次）計画の中で定めた、いわゆる団塊の世代がすべて高齢期となる平成26年度を目標とする長期計画の最後の3ヵ年としての位置付けとなり、また、団塊の世代のすべてが後期高齢者となる2025年に向けた最初の計画としての位置付けとなるものである。

(1) 基本的な考え方

- ① 希望する生活（暮らし）について

介護保険制度は、高齢者本人による自己選択を基本としている。

このため、高齢者本人は「どこでどのように暮らしたいと考えているのか」について前回と同様に確認し、調査結果について比較検討することで、今後における施策の方向付けに反映する考えである。

- ② 10年後の将来像について

いわゆる戦後ベビーブーム世代（団塊の世代）が間もなく65歳を迎えようとしており、高齢者にとっての「希望する生活（暮らし）」とは何かを含め、高齢期における「暮らし」について、年代別にどのような意識を持っているのか確認することにより、今後における施策の方向付けに反映する考えである。

③ 介護予防への意識について

誰もが「健康長寿」を願っており、本市としても、可能な限り「元気で長生き」できるよう保健・福祉・医療等の施策の推進を図っているが、被保険者の方等が、自身の健康をどのように捉え、その維持のためにどのようなことに取り組んでいるのか確認するとともに、要介護（支援）者については、現在の身体状況を維持・改善することの意識、そのための取り組みなどについて確認することにより、今後における介護予防に係る施策の展開等に役立てる考えである。

④ 物忘れの具体的症状について

今後も高齢化の進行に伴い、認知症高齢者の増加が見込まれる。

このため、高齢者の方が現在どのような認知症的症状を抱え、どのような環境の下で生活しているか、また、家庭の中で認知症高齢者をケアする上での問題は何か、ケアを継続するためにどのような事業が必要なのかなどについて確認することにより、今後における認知症ケアに係る施策の展開等に役立てる考えである。

⑤ 一人暮らし高齢者の生活状況について

今後、核家族化の進行をもとに、高齢者のみ世帯、一人暮らし高齢者の更なる増加が見込まれる。

このため、一人暮らし高齢者の方が現在どういった環境の下で生活しているか、また、どのような問題を抱えているか（例：外出可能、外出が困難になりつつある、要介護状態）等を把握する必要がある。

また、これらを改善するために何を必要としているのかなどについて確認することにより、今後における一人暮らし高齢者に係る施策の展開等に役立てる考えである。

⑥ 高齢者保健福祉施策への評価について

高齢化の進行や単身高齢者世帯の増加等の社会情勢の変化と併せ、高齢者ニーズについても変化していくものと考えられる。

このため、現在市が取り組んでいる、既存の高齢者保健福祉施策についての満足度や新たな高齢者保健福祉施策への関心度等について確認することにより、今後における保健福祉施策の展開等に役立てる考えである。

(2) 調査概要

① 調査対象者及び調査方法等

調査名	介護保険サービス利用者調査	介護保険サービス未利用者調査	一般高齢者実態調査
対 象	<ul style="list-style-type: none"> 平成 22 年 11 月 1 日時点に要介護（支援）認定を受けている方 1,000 人(前回の倍) 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 22 年 11 月 1 日時点に要介護（支援）認定を受けている方で、平成 22 年 7 月から 9 月までにサービスをご利用にならなかった方 500 人(前回と同数) 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 22 年 11 月 1 日現在、いわき市在住の 65 歳以上の方 1,500 人(前回と同数)
調査客体の抽出方法	・無作為抽出	・無作為抽出	・無作為抽出
調査方法	・介護支援専門員による訪問聞き取り調査	・アンケート（郵送配布、郵送回収）	・アンケート（郵送配布、郵送回収）
調査期間	・平成 23 年 1 月～3 月	・平成 23 年 1 月～3 月	・平成 23 年 1 月～3 月
主な調査内容	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態 日常生活 サービスの利用状況 介護者について 等 	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態 日常生活 サービスの利用意向 介護者について 等 	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態 日常生活 10 年後の生活 介護期の希望 等
調査名	第 2 号被保険者調査（健康づくりと高齢者介護に関する意識調査）	介護支援専門員調査	
対 象	<ul style="list-style-type: none"> 平成 22 年 11 月 1 日現在、いわき市在住の 40～64 歳の方 2,500 人(前回と同数) 	<ul style="list-style-type: none"> いわき市介護支援専門員連絡協議会会員 約 270 人 	
調査客体の抽出方法	・無作為抽出	・全会員	
調査方法	・アンケート（郵送配布、郵送回収）	・アンケート（郵送配布、郵送回収）	
調査期間	・平成 23 年 1 月～3 月	・平成 23 年 1 月～3 月	
主な調査内容	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態 日常生活 10 年後の生活 介護期の希望 等 	<ul style="list-style-type: none"> 業務上の困難 介護サービスの需要 一般高齢者福祉事業に対する評価 等 	

② 主な調査内容

ア 一般高齢者等調査（第 1 号・第 2 号被保険者）

(ア) 介護が必要になった場合の利用意向

- ・ 今後どのような生活を送りたいか
- ・ 居宅・施設サービスの利用意向

(イ) 介護予防に関する意識

- ・ 介護予防サービスの需要把握
- ・ 10 年後のライフスタイル等
- ・ 65 歳未満の方の家族同居・独居など老後に対する考え方の把握

イ 介護保険サービス利用者調査

- (ア) 今後の利用意向
 - ・ 今後どのような生活を送りたいか
 - ・ 居宅・施設サービスの利用意向
- (イ) 身体が改善されたかどうか
 - ・ どのようなサービス効果があったか
- (ウ) 身体を改善するために必要だと思うサービス
 - ・ 介護予防サービスの需要把握

ウ 介護保険サービス未利用者調査

- (ア) サービスを利用しない理由
 - ・ 現状の把握
- (イ) 今後の利用意向
 - ・ 今後どのような生活を送りたいか
 - ・ 居宅・施設サービスの利用意向
- (ウ) 介護予防に関する意識
 - ・ 介護予防サービスの需要把握

エ 介護支援専門員調査

- (ア) 業務を行う上での課題
 - ・ 現状の把握
- (イ) 一般高齢者福祉事業の評価
 - ・ 現状の満足度

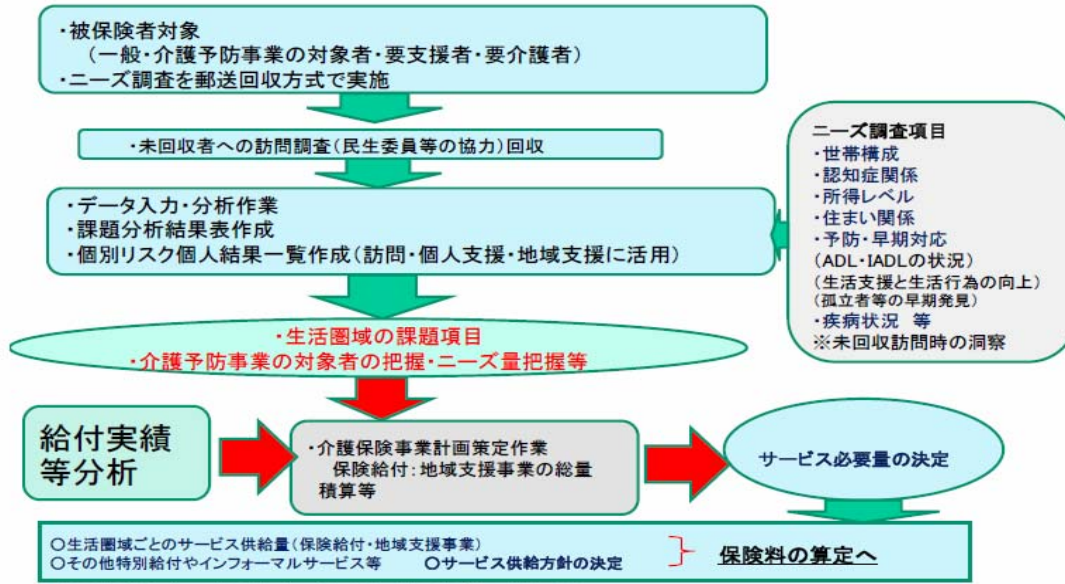
③ 日常生活圏域ニーズ調査

地域や高齢者の課題等をよりの確に把握するため、「日常生活圏域ニーズ調査検証・評価事業」の実施について、本年 10 月 27 日に開催された「第 5 期介護保険事業（支援）計画の策定準備及び地域支援事業の見直しに係る全国会議」にて示された。

当該調査は、全圏域の悉皆調査ではなく、選定した一部の圏域において抽出による調査でもよいものとされている。

本市においては、国で示した「日常生活圏域ニーズ調査調査票」の質問項目と先述の基本的な考え方を総合的に勘案し質問項目を整理することで地域の課題やニーズ等を的確に把握していく。

日常生活圏域ニーズ調査による計画策定フロー（ごく短いイメージ）



※上記は典型的なものであり、どこまで実施するかは個別保険者の判断による。

日常生活圏域(14圏域)の設定



【参 考】 前回の調査対象者及び調査方法等

調査名	介護保険サービス利用者調査	介護保険サービス未利用者調査	一般高齢者実態調査
対 象	<ul style="list-style-type: none"> 平成 19 年 11 月 1 日時点に要介護（支援）認定を受けている方 500 人 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 19 年 11 月 1 日時点に要介護（支援）認定を受けている方で、平成 19 年 9 月にサービスをご利用にならなかった方 500 人 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 19 年 11 月 1 日現在、いわき市在住の 65 歳以上の方 1,500 人
調査客体の抽出方法	・無作為抽出	・無作為抽出	・無作為抽出
調査方法	・介護支援専門員による訪問聞き取り調査	・アンケート（郵送配布、郵送回収）	・アンケート（郵送配布、郵送回収）
回収数（率）	・464 件（92.8%）	・296 件（59.2%）	・1,035 件（69.0%）
調査期間	・平成 20 年 1 月～3 月	・平成 20 年 2 月	・平成 20 年 2 月
主な調査内容	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態 日常生活 サービスの利用状況 介護者について 等 	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態 日常生活 サービスの利用意向 介護者について 等 	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態 日常生活 10 年後の生活 介護期の希望 等
調査名	第 2 号被保険者調査（健康づくりと高齢者介護に関する意識調査）	介護支援専門員調査	
対 象	<ul style="list-style-type: none"> 平成 19 年 11 月 1 日現在、いわき市在住の 40～64 歳の方 2,500 人 	<ul style="list-style-type: none"> いわき市介護支援専門員連絡協議会会員 233 人 	
調査客体の抽出方法	・無作為抽出	・全会員	
調査方法	・アンケート（郵送配布、郵送回収）	・アンケート（郵送配布、郵送回収）	
回収数（率）	・1,222 件（48.9%）	・111 件（47.6%）	
調査期間	・平成 20 年 2 月	・平成 20 年 3 月	
主な調査内容	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態 日常生活 10 年後の生活 介護期の希望 等 	<ul style="list-style-type: none"> 業務上の困難 介護サービスの需要 一般高齢者福祉事業に対する評価 等 	